

道内初世界子ども水フォーラム当町で開催 水に関する諸問題を中・高生が討論

道内で始めて世界子ども水フォーラム・フォローアップ in北海道 2010（主催同実行委員会等）が、ネイパル洞爺で、8月2日から3日間の日程で開かれました。

次世代を担う中学校・高校の生徒を対象に、世界の水に関する諸問題や自分たちが行っている水に関する活動などについて討論し、活動の発展とネットワークを広げることを目的に毎年開催されています。

今回は、作文選考された全国の中高生 39人が参加し、「水による災害」「河川環境の保全・復元・再生」などをテーマに1グループ6、7人に分かれて討論を行いました。



参加者を前に挨拶する真屋町長

青年経営者の親睦団体日本 YPO（ヤング・プレジデント・オーガニゼーション）が、家族参加の夏期大学で、8月2日から5日までウインザーホテルに宿泊し、サイロ展望台での生キャラメル作りなど町内観光を楽しみました。



湖畔で昼食を楽しむ青年経営者の皆さん

3日には、浮見堂近くの洞爺湖畔で昼食会を行い、子どもらは、カヌーなどで水遊びを楽しみました。

正田隆同委員長は「8年前にも洞爺湖で開催し、好評だったので、今回も洞爺湖に決定しました」と自然のすばらしさと食べ物のおいしさを改めて実感していました。

日本の将来を担う青年経営者 洞爺湖で夏期大学開催

平成 22年度虻田地区戦没者追悼式が、8月4日約 50人の遺族関係者が参列し、青葉忠魂碑前で行われました。

式典では、全員黙祷の後、真屋町長が「謹んで追悼の誠を捧げます。これからも平和と繁栄が末永く続きますようご祈念申し上げます」と式辞を述べました。

続いて北海道、洞爺湖町議会議長、北海道連合遺族会、



菊の花を捧げる遺族の皆さん

洞爺湖町遺族会長が、戦没者に追悼の言葉を述べ、最後に参列者全員が菊の花を捧げ戦没者の冥福を祈りました。

虻田地区戦没者追悼式 永遠の平和を誓う

洞爺湖温泉旅館組合婦人部が製作した、ご当地かるたの「洞爺湖かるた」を使ったカルタ大会が、8月7日洞爺観光ホテルで、小学生 18人が参加して開かれました。

児童が9組に分かれ、個人戦で闘い、取り札の数を争いました。会場は、読み句を聞き逃すまいとする、児童たちの張り詰めた空気が被い、札を取り終えた後の「ハイ」の聲が大きく響いていました。優勝者は次のとおり。

低学年優勝 菅原花音さん（虻小2年）・準優勝 高橋佑心くん（温小1年）
高学年優勝 戸島彩さん（虻小6年）・準優勝 松島悠那さん（虻小5年）



真剣な表情で札を取りあう児童たち

ご当地かるたの大会開く 町内の名所の絵札を取りあう

まちのわだい

